

都心から

50km

圏内

*6つの高速道路と
つながりました！



ご挨拶



稲敷市長 篠 信太郎

稲敷市は、2005年3月22日に江戸崎町、新利根町、桜川村、東町が合併してできた、豊かな自然環境と温暖な気候に恵まれた水と緑にあふれた田園都市です。

利根川を挟んで千葉県と接する茨城県の南端に位置し、市内には新利根川や横利根川、小野川など多くの河川が流れるとともに、北側は霞ヶ浦に面するなど、恵まれた水辺環境を活かし、釣りやボートなどが盛んです。また、市内には9つのゴルフ場があり、県内外から多くのゴルフ爱好者が訪れるレジャーの活発なまちです。

さらに、日本の空の玄関口である成田国際空港、日本の頭脳が集積する筑波研究学園都市の中間に位置する本市は、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の全線開通により、「つくば市」や「成田市」はもとより東京・千葉・埼玉・神奈川など首都圏とのアクセスが飛躍的に向上しています。また、近傍地域を含め商業・医療施設等も充実し、企業活動だけでなく、暮らしやすい環境にも恵まれております。企業のみなさまにおかれましては、首都圏外縁に位置する稲敷市の魅力と可能性をご理解いただき、御社における企業立地のご検討や企業立地に関する情報のご提供などをいただければと存じます。

